てんてこ新聞

'14.1.No.199
発行所 市岡日出夫
責任 0883-88-5292

2014 はじまる

※2014年が穏やかにはじまりました。いつもの年なら、七時すぎると、向こうの峯にある大日さんの鐘の音も聞こえて来るのに、それも聞こえてこない。静かに静かに時が流れていきます。

テレビやラジオでは、初詣でのようすがまるで、行かない人は悪い様な口振りです。

※元旦、2日には、雪が降り続き、3日の朝、庭には、どっさりと雪が。屋根からもザラザラ雪がおちて、一列に雪の山が出来ていました。

その為に雪かきもひと苦労。道路の雪かきは土建業の皆さんがやってくれるのに、安心して待っていたら、二日たっても音さたなし。

待らくたびれて、支所に電話すると、三日目の午前中にやっと通行可能になりました。

郵便屋さんも三日ぶりに配達に来ました。まとめて読む新聞。ちょっと賞味期限切の様でなんとも味けない。

そんな年末の雪でしたが、その時々の、今年も「どんときにかえし」の大用を製作し、風通ぞいに掲示する時は、天候もよくて、昨年の様に帰省してくる皆さんをお迎えすることができました。

今回も、M支えさんで、なんだかんだ言いながら書いていきました。絵にこだわるM支えさんにこだわる私のパターンですが、時間がたてばちぬんと江るのは毎年のこと。

「統合生」のメンバーにも年賀状で頂き誤魔。今年で十六回目だとおもいますが、自分達だけでなく世の中を見るには、ノドカ村が一番ではないかとおもいました。

今年もてんてこ新聞ようしくお願いします

※さて、一年の計は元旦にありといいますが、また読書の時間もにつろい

※どうこうの目標は、今年は、オープニカな南ける場所をどうこうも作りたいものです。拠点がひとつ、その場だけになってしまってまるせっかく、「やりたいこと意欲のある人がいる時に実現したいも人です。

※のんびりすごせた三日ですが、コタツでコーヒーを飲んでいたら、ラジオからルイアームストロングの「イッツワンダフルワールド」が流れてきました。

コーヒーが一段と美味しく感じました。別段、一人で飲んでも幸せが味わえるものです。強がりではありません。

あいにみつおさんも言うように「ありがとうございます」と。いつも心ぶんのこころがきめるもの」と。誰かと比較するからいけないんですよ。

※新聞の短歌、俳句の欄が楽しみの一つです。短歌には、若い人々の日々の歌が毎週選ばれていますが、それ以外にも、印象深い良い歌というか社会を鋭く突く歌を紹介します。

孫という想定体を抱き締めて
　　政策保護法成立を怖る

○幾千の暗く秘密の夜ありき
　小林多喜二虐殺下れし

○思いより時代が我を超えて行く
　汚染は止まらず秘密保護法

○あの時に止められなかった大人たちと
　未来の人からまもれた人たち

○ここうきを汚染されてくまいにちを
　ワクワクと人は生きております

○戦争の残虐性は
　残虐な捕虜がなければ捕虜ができない

○過労死と過労自殺が増えている
　ストもデモもない仕組みのなかで

○80年代とりの兵も戦死せぬ
　日本がありとりの兵を変えるか

○除染など　ありえません絶対に
　せこうみ前々に人間を測るの

○原発の　ゴミ捨て場所　決まらず
　トイレなきマンション　いまだ増やすか

○ふるさとを　追われ帰れぬ　人多く
　原発事故の　償いはどこ

○ふるさとを　追われ帰れぬ　人多く
　原発事故の　償いはどこ

○ふるさとを　追われ帰れぬ　人多く
　原発事故の　償いはどこ

○ふるさとを　追われ帰れぬ　人多く
　原発事故の　償いはどこ

○ふるさとを　追われ帰れぬ　人多く
　原発事故の　償いはどこ